

平成25年4月23日
四国地方整備局

入札監視委員会（第一部会）の審議概要等について

四国地方整備局入札監視委員会第一部会は、平成24年度第2回定例会議を下記のとおり開催しました。

審議内容は、四国地方整備局（港湾空港関係は除く）が平成24年4月から平成24年12月までに発注した工事、建設コンサルタント業務等及び役務・物品の中から委員が無作為に抽出した8件の入札・契約手続に関する事項について審議を行いました。

また、入札監視委員会終了後、高知県内の談合事案を受けて、入札監視委員会委員により入札監視委員会の見直し等に関する意見交換会が実施されました。

その審議概要等は別添のとおりです。

記

開催日 平成25年 3月25日（月）
会場 高松サンポート合同庁舎 13階会議室

問い合わせ先

高松市サンポート3番33号 電話 087-851-8061（代表）
四国地方整備局入札監視委員会事務局
主任監査官 三枝茂樹（内線2114）
契約管理官 今城敏雅（内線2222）
技術開発調整官 近藤秀樹（内線3120）

別添

四国地方整備局 入札監視委員会第一部会第2回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成25年3月25日(月) 高松サンポート合同庁舎 13階会議室					
委員(部会委員5名)	部会長 近藤 光男(徳島大学大学院教授) 委員 大西 均(公認会計士) 委員 島 弘(高知工科大学大学院教授) 委員 白井 一郎(弁護士) 委員 三野 靖(香川大学教授)					敬称略 委員は50音別
審議対象期間	平成24年4月1日～平成24年12月31日契約分					
審議案件	総件数 8件(工事5件、建設コンサルタント業務等2件、役務及び物品1件)					
	入札方式	件名	契約の相手方	契約金額(千円)	入札者数	落札率(%)
工 事	一般競争 (政府調達協定適用対象工事)	平成24-25年度 石手川橋上部工事	(株)ピーエス三菱	1,039,500	11	92.42
	一般競争 (政府調達協定適用対象工事以外)	平成24年度 沖浦堤防工事	(株)西田興産	125,475	5	99.81
	一般競争 (政府調達協定適用対象工事以外)	平成24年度 西畑樋門外耐震補強工事	(株)南国・西村	64,890	1	97.09
	一般競争 (政府調達協定適用対象工事以外)	平成24年度 高知維持工事	須工ときわ(株)	58,800	1	99.38
	一般競争 (政府調達協定適用対象工事以外)	平成24年度 水樋門遠隔監視操作制御設備改良工事	(株)日立プラントテクノロジー	32,865	1	99.65
建設コンサルタント業務等	一般競争	平成24-25年度 徳島道路工務外工事監督支援業務	(特社)四国建設弘済会	121,170	3	90.02
	簡易公募型プロポーザル	平成24年度 那賀川津波対策検討業務	応用地質(株)	14,910	4	99.79
役務及び物品	一般競争	出力機器等最適配置調査及び出力サービス提供等業務	リコージャパン(株)	276,478	2	86.31
報告事項	①談合情報等の対応状況 ②再度入札における一位不動状況・低入札の発生状況 ③指名停止状況					

委員からの意見質問、それに対する回答等	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし
備 考	

(注)プロポーザル方式においては、「入札者数」は「技術提案書の提出者数」である。

別紙 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1. 抽出案件の審議概要

(1)一般競争入札(政府調達協定対象工事)	
意見・質問	回答
<p>平成24年—25年度 石手川橋上部工事</p> <p>特になし</p>	
(2)一般競争入札(政府調達協定対象工事以外)	
意見・質問	回答
<p>平成24年度 沖浦堤防工事</p> <p>・技術提案の点数が0点の者は提案内容に問題があつて0点としているのか。また、提案内容が不適切な場合はどうなるのか。</p> <p>・A社は技術者評価が劣っているが、良いのか。</p>	<p>・提案の着目点として3項目を提案するよう要請していたが、2項目しか提案されていないこと及び全ての着目点について提案されていないため加算点を計上しなかった。</p> <p>・不適切な提案内容の場合は、欠格としている。</p> <p>・技術提案、技術者、企業について評価を行い、入札価格とあわせて総合的に評価を行っている。</p>
<p>平成24年度 西畑樋門外耐震補強工事</p> <p>・競争参加資格に配置予定技術者が直接雇用されている資料が明示できない場合は、入札に参加できないことがあるとあるが、表現が曖昧で意味が分かりにくい。</p> <p>・施工計画を求めない、実績重視の総合評価において、落札者における技術者評価での加点がCPDのみというのは問題ではないか。</p> <p>・1者応札となっているが参加できる者は何者あつたのか。</p> <p>・技術者の要件が厳しいのでは。また、技術者が不足しているのでは。</p>	<p>・全国共通の表現になっているが、検討を行っていききたい。</p> <p>・CPDや同種工事の施工実績等の加点評価は、参加要件を満たした者の中での競争であり、落札者とすることに問題はない。</p> <p>・参加できる者は16者あつた。</p> <p>・要件を満たす技術者の総数は把握していないが、本案件で求めている技術者要件は一般的な内容であり、要件を満たす技術者数は十分であつたと考えている。</p>

平成24年度 高知維持工事

・1者しか参加していないが、その理由は。

・維持工事は、小さな作業の集合体であること、施工箇所も点在していること、24時間体制の必要性がある等、一般土木工事のように、効率よく、利益があがる工事とはなりづらい。また、現道の工事であり、事故発生の可能性が高いことから、事故発生に伴う指名停止等のリスクがあることや、維持関係の予算も大幅に減少し、工事規模が小さくなったことも影響しているのかも知れない。

・1者入札について問題意識を持っているのか。適正な競争と言えるのか。

・問題意識はもっている。維持関係の予算が減少していることから、工事規模が小さく、利益のあがらない工事と敬遠される傾向にあると思われ、今後発注規模が拡大すればある程度、解消の方向にむかうのではと考えている。

・維持工事に除草や剪定等を組み合わせており、植栽関係は全て下請けになっている。このような組み合わせはあり得るのか。

・以前は、維持工事、路面維持、街路樹維持と別件で発注していたが、予算が減少したため効率性の観点から現在の工事内容で発注している。

・植栽に関しては丸投げではないか。

・植栽に関しては、当該工事の主たる部分ではないことから、一括下請けとは考えていない。また、監理技術者の指示のもと、作業等を行っており問題はないと考える。

・災害に伴い出動した実績がないのに、技術提案における緊急時の体制が20点になっているのは、矛盾があるのではないか。技術提案が20点は違和感がある。

・維持工事の契約内での災害対応は評価の対象外としており、加点と実際の出動実績が異なる部分もある。
緊急時の体制に関する技術提案とは評価軸が異なるため、出動実績の加点とは必ずしも整合しない。

平成24年度 水樋門遠隔監視操作制御設備改良工事

・当該受注業者は他の事務所でも同様な工事を受注しており、競争も1者のみの参加になっている。契約のあり方、競争のあり方を検討すべきでは。

・既存設備の改良であることから他者の参入については難しい面もあるのではないか。

(3)一般競争入札(建設コンサルタント業務等)	
意見・質問	回答
<p>平成24年～25年度 徳島道路工務外工事監督支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施方針で業者間の差がついているが、何を書いたら良いのか分かりづらい。 ・業務実績があるから書けるのではないか。評価の差が適切かどうか疑問である。 ・価格点30点、技術点60点という配分比はよくあるのか。 ・今回の審議対象期間の業務について、1者入札が139件中87件あり、全体の62～63%を占めている。また、その契約日が4月2～6日に集中しているが、何故か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価できるような具体的な内容であるかどうかで差がついている。 ・各者に対しヒアリングを行った上で、提案内容について、より具体性のあるものを評価している。 ・本業務のような、支援業務については、1:2としている。 ・公物管理、支援業務等について平成23年度から市場化テストを進めている。民間競争入札の実施にあたっては、内閣府に設置された「官民競争入札監視委員会」において、入札参加要件等について審議を経た上で実施しており、実績のある者が増えて行くのではないか。契約の時期については、年間を通じた業務であるため、ご意見のような契約になっている。
(4)簡易公募型プロポーザル(建設コンサルタント業務等)	
意見・質問	回答
<p>平成24年度 那賀川津波対策検討業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	
(5)一般競争入札(役務・物品)	
意見・質問	回答
<p>出力機器等適正配置調査及び出力サービス提供業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	

2. 談合情報等の対応状況

意見・質問	回答
<p>・高知県内の官製談合事件に係る期間に、談合の情報は何件あったのか。</p> <p>・業者に対するヒアリングには限界があり、かつ、今回は発注者側からの情報の漏洩と言う事で、これを教訓に調査の方法について考え直す必要があると思うが、その考えはあるのか。</p>	<p>・談合情報は無いが、期間中に6件の疑義案件を調査しており、その内、対象案件が3件あった。いずれも、公正取引委員会に通報している。</p> <p>・発注手続きについて見直すことにより、談合が起こりにくいような制度にしていきたい。</p>

3. 再度入札における一位不動状況（「価格が最低である業者が、当初入札時と同一となる案件」の発生状況）、低入札の発生状況について

意見・質問	回答
特になし	

4. 指名停止状況について

意見・質問	回答
<p>・同一業者において、指名停止の事由が複数回ある場合は、加算はしないのか。</p> <p>・支援業務の件については、セキュリティや庁舎管理等がどのような状態で事務所内で行われていたのか。他ににつながる大きな問題点と思われるし、コンプライアンスの問題でもある。</p>	<p>・加算は行っていない。</p> <p>・事務所には、管理体制を十分にしよう指導を行った。</p>

5. 全体について及びまとめ

<p>○総合評価における、評価の考え方、表現方法の考え方、点数配分の考え方について説明をお願いしたい。</p> <p>○談合情報があった場合の、調査方法の見直しについて検討をお願いしたい。</p>
--

入札監視委員会第一部会委員による意見交換会の結果

日 時：平成25年3月25日（月）16：35～17：45

場 所：高松サンポート合同庁舎 1304会議室

出席者：近藤部会長、大西委員、島委員、白井委員、三野委員

※ H24年度入札監視委員会第一部会（第2回定例会議）終了後、高知県内の談合事案を受けて、入札監視委員会の委員により入札監視委員会の見直し等に関する意見交換会が実施された。

本資料は、会の終了後に近藤部会長より委員会事務局に対し報告された事項を取りまとめたもの。

近藤部会長：意見交換の結果として、5点ほど申し上げたい。

1. 入札監視委員会の配付資料については、本日同様に今後も、事前にできるだけ早く委員に配付し、質問等があればそれに対応していただきたい。
2. 審議事案の抽出方法については、今後1年程度の試行として、工事の種類・地域性・契約金額に加え、落札率・応札状況・同種工事等の発注状況も勘案して抽出ができるように資料を整理していただきたい。
3. 1回の審議時間をもう少し長く（例えば、3時間程度に）していただきたい。
4. 入札監視委員会における委員からの様々な質問に対し、事務局からの回答がより適切になされる仕組みを工夫していただきたい。
5. 事務所ごとの年間を通じた応札状況（落札率・業者別年間受注額・受注割合）等、入札に関する大局的な状況がわかる資料を提供していただきたい。